

いばら 市議会だより

【目次】

6月定例会	2P
委員会報告	4P
一般質問	6P
行政視察	9P
アンケート結果報告	10P
編集後記等	12P

発行／井原市議会
編集／井原市議会広聴広報委員会



E-mail: gikai@city.ibara.lg.jp
TEL 62-9535 FAX 62-9556



子守唄の里ふれあい祭り

アンケート ご協力をお願い

特別委員会では『定住・移住』に関する意識調査を行っています。

実施期間

～8/31

- ・匿名回答
- ・チェック方式

アンケート回答へ



所要時間
2分程度

みなさまの声をきかせてください！

井原市議会【人口減少時代の施策の在り方調査特別委員会】

6 月 定 例 会

6月10日～24日
(15日間)

6月10日から24日にかけて、6月市議会定例会が開かれました。6月定例会における各議案の案件名と議決結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議決結果
予 算 議 案		
議案第40号	令和6年度井原市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)
条 例 議 案		
報告甲第1号	市長の専決処分した井原市税条例の一部を改正する条例について	承認 (全会一致)
報告甲第2号	市長の専決処分した井原市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	承認 (全会一致)
報告甲第3号	市長の専決処分した井原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	承認 (全会一致)
報告甲第4号	市長の専決処分した井原市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	承認 (全会一致)
議案第41号	地方活力向上地域等特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第42号	井原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第43号	井原市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例等の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)

6 月市議会定例会において審議された主な議案の概要について

・ 議案第40号 令和6年度井原市一般会計補正予算（第2号）について

今回の補正は、国・県等の補助採択によるもの及び地元要望に基づく補助事業、国の交付金を活用した給付金の支給、定期接種化に伴う新型コロナウイルスワクチン接種事業、災害に対する予防・拡大防止のための排水ポンプ整備事業のほか、補助事業認定に伴う債務負担行為補正などの所要の措置を講じるもの。

◎補正額 12億6,220万円

◎補正後の予算総額 230億9,900万円（前年同期比6.8%増）

■歳出の主なもの

総務費 分譲宅地開発助成金

1,500万円

定住化の促進、人口流出の抑制を図ることを目的に、宅地を造成し分譲する民間事業者に、助成金を交付し、市内での宅地開発を推進する。



民生費 **低所得者支援及び定額減税補足給付事業** 4億6,500万円

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」（令和5年11月2日閣議決定）を踏まえ、低所得者支援及び定額減税を補足する給付として、定額減税の実施と併せて以下の一連の給付を実施し、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた低所得世帯等を支援する。

児童手当給付事業 9,180万円



児童手当の制度改正に伴い、支給対象者等が拡充されるため、必要となる補正を行う。併せて、必要となるシステム改修を行う。

衛生費 **新型コロナウイルスワクチン接種事業（定期接種）** 8,600万円

令和6年4月から新型コロナウイルス感染症予防接種が、B類疾病の定期接種に位置づけられたため、事業実施に必要な費用について補正を行う。

農林水産業費 **小規模土地改良事業（農道橋梁点検）** 1,500万円

道路法に準じて実施する5年に1度の橋梁点検。農道の個別施設計画策定要領に基づき、橋長15.0m以上の橋が対象。

土木費 **道路ストック点検調査事業（社会資本整備総合交付金事業）** 1,160万円

市が管理する道路施設のうち、道路のり面・土工構造物（擁壁等）、道路付属物（標識、照明等）について、損傷状況を把握し、危険性の判定及び緊急修繕が必要な箇所の抽出を行う。

排水ポンプ整備事業（緊急自然災害防止対策事業） 4億6,085万円

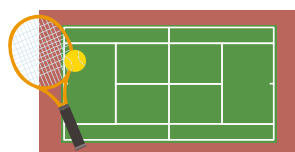
河川の増水時及び昨今のゲリラ豪雨等により、家屋等の浸水が発生することから、内水排除を目的とした排水ポンプ場を整備し、雨水を強制排水することにより、浸水による被害を軽減し周辺住民の安全安心な生活の確保を図るもので、芳井町与井地内、及び梶江地内において、排水ポンプ場の整備工事等を実施する。



教育費 **部活動指導員配置事業** 159万8千円

中学校における教員の負担軽減と部活動の充実を図るために、地域人材等を部活動指導員として学校に派遣し、学校現場の教育体制の充実・学力向上を図る。

井原運動公園庭球場人工芝張替修繕事業 4,200万円



井原運動公園庭球場の5～8コート（4面分）約2,600㎡の人工芝の張替を実施し、安心・安全な施設の提供と長寿命化を図るもの。

総務産業委員会

6月19日開催

議案1件を 審査

所管事務調査

〈本市における空き家に対する取組について〉

〈議案第43号 井原市
布設工事監督者及び水
道技術管理者の資格等
を定める条例等の一部
を改正する条例につい
て〉

原案可決

Q. 空き家対策施策に
対する課題と将来、想
定される課題について
A. 除却を行っている
補助制度についての課
題は、危険空き家は相
続が進んでいないため、
除却に結びついていな
い現状にある。引き続

き補助制度を周知し除
却を促していくことが
課題である。
・ 今後は、空き家の発
生を防ぐために住環
境の教育と、空き家
が発生する前に何と
かしようという教育、
これらを如何に進め
るかが課題である。
・ 空き家は今後、益々
増える状況にあり、

治安、景観、コミュ
ニティーの衰退等を
解決していくことが
課題である。
・ 平成20年から空き家、
空き農地バンクに取
り組んでいる。制度
の開始当初は、登録
数も成約数も少な
かったが、平成28年
の中古住宅の補助金
の創設に合わせまし

て、登録数、制約数
ともに伸びた実態が
ある。ワンストップ
で空き家対策を担え
る、民間組織の設立
を目指し、今年度か
らアドバイザーを招
いて、新たな取組を
している。
・ 官民連携の取組は、
空き家の問題で、相
談に行くのは市の窓

口と思われる。行政
は不動産の売却、改
修の提案、空き家の
管理といった実務面
を行うことができな
いため一括で取り組
む民間組織があれば、
ワンストップでの総
合的窓口
が確立で
きると考
える。



厚生文教委員会

6月18日開催

議案1件を 審査

所管事務調査

〈放課後児童健全育成
事業のありかたについ
て〉

〈議案第42号 井原市
家庭的保育等の設備及
び運営に関する基準を
定める条例の一部を改
正する条例について〉

原案可決

Q. 支援員の充足状況
で実質人数は把握して
いるのか
A. 把握していない。
Q. 支援員の契約状況
は
A. 正式な書面をもつ
ての契約かどうかは把

握していない。通常は
1年ごとの契約更新が
一般的と思っている。
Q. 支援員が不足して
いるクラブを把握して
いるか
A. 井原市よしクラブ
が支援員1名となつて
いる。
Q. 委託料の積算方法
は
A. クラブの方から申

請された金額をそのま
ま積算して委託料とし
ている。
Q. キャリアアップ処
遇改善事業の実施状況
は
A. 最低賃金が上がつ
た分以外に加算として
支援員、補助員に出し
ている。平成30年から
取り組んできている。
Q. 井原市よしクラブ

利用者の保護者から要
望書を出されてからの
経緯について
A. 井原市で直接運営
できないかという内容
の要望書であった。経
緯は、3月末時点で5
名いた支援員のうち4
名が辞められた。5月
31日の総会で運営委員
会の解散が発表された。
7月1日以降の対応を

検討している。
Q. 井原市が直接運営
することを考えていな
いのなぜか
A. 可能性としてゼロ
と言っているわけでは
なく、現時点ですぐに
市が直接運
営をするこ
とは難しい
と回答して
いる。



予算決算委員会

6月20日開催

6月定例会 議案1件を 審査

〈議案第40号 令和6
年度井原市一般会計補
正予算（第2号）〉

Q. 住民税非課税世帯等臨時特別給付事業の事務委託料について、具体的にどのような委託内容となっているか

A. 新たに住民税均等割非課税となる世帯、新たに住民税均等割のみ課税となる世帯及び定額減税しきれないと見込まれる方等への給付に対するシステム構築。また、確認書等印刷物印刷及び封入封緘作業業務委託、コールセンター設置といった内容となっている。

Q. システム構築費の妥当性はどのように評価しているか

A. 庁内のシステム担当部署への確認や他市のシステム構築費用等を調査しており、他市と比べて均衡が取れているかといった内容の確認はしている。



Q. 新型コロナウイルススワクチン接種事業のB類疾病の定期接種の対象者について

A. 65歳以上の方、または、60歳以上65歳未満の方で一定の疾病がある方が接種の対象となっており、接種するかしないかについては、今までどおり、ご本人

の選択ということになる。

Q. 接種見込数が7千人ということだが、直近のワクチン接種数は

A. 令和5年秋開始接種の実績では、接種率54.4%で、7千780人の方が接種を受けられている。



Q. 部活動指導員配置事業について、市内中学校に5名の部活動指導員ということだが、この選定基準について

A. 選定基準というのは特に設けていないが、昨年度末の人事異動後の状況等に伴う各校の需要を調査し、そ

こで上がった部活動を対象に、指導員を学校もしくは教育委員会で探しているという状況となっている。

Q. 学校から要望のあったものは何部の指導員か

A. 卓球部、男子バレーボール部、バドミントン部の3つの部活動となっており、バレーボール部とバドミントン部に関しては、現在探している段階となっている。



Q. 有害鳥獣被害防止対策協議会補助金について、予算額約1千545万円の内訳は

A. ワイヤーマッシュに871万4千円、イノシシ用捕獲器5基に60万円、はこ農用発信機16基に39万6千円、サル行動域調査GPS首輪2基に35万5千300円、緊急捕獲活動支援として53万8千円等を見込んでいる。



Q. 北海道では、報酬の関係で猟友会が駆除の協力要請を辞退したという状況があるが、捕獲活動支援に係る補助金額は妥当か

A. 国・県に準じた金額で交付をしており、妥当と判断している。

Q. 井原運動公園庭球場人工芝張替修繕事業について、人工芝の張り替えに当たって、基準となるものがあるか

A. 人工芝の耐用年数が、おおむね10年というところ。また、使用頻度や傷み具合、利用者の声を聞いて判断している。

Q. 地域おこし協力隊事業について、今回の協力隊員1名の受入団体はどこになるか

A. 8月からの予定で、大江地区のまちづくり協議会となっている。

原案可決





井原市民病院
経営強化プランの推進について

無所属 宮地 俊則



問 市民病院事業管理者就任に当たり齋藤信也先生の所信を伺う。

答 これまで培ってきた知識を井原市の医療発展に役立てていきたい。医師不足の要因は医師の地域偏在にあり、岡大への医師派遣要請や県に検討を依頼していく。市民病院の存在意義は市民に質の高い医療を提供することであり、そのためにも医師の働き方改革を進める。

問 経営強化プランの推進に向けての考えを伺う。

答 持続可能な経営を確保するためのポイントはプランと合致しており、今後の事業運営の指針として取り組んでいきたい。

問 今後の新興感染症対策について伺う。

問 経営の効率化について伺う。

答 3年後の黒字化達成を目標とし、そのために4つの重点項目を掲げ取り組むこととしている。道筋として市民の望む質の高い医療の提供が、結果として経営改善に結びつく近道であると考えている。



木之子公民館別館（北側建物）
について 他1件

無所属 多賀 信祥



木之子公民館別館（北側建物）について

問 市の所有になった経緯について

答 昭和28年1月に相続人から土地と家屋を木之子村（当時）へ寄附していただき、その後市制施行により市の所有となっている。

問 今後の改修や修繕について

答 北側の建物2棟を含めて現在の市の公民館整備基準の延べ床面積となっている。建物の歴史的な背景や成り立ちがあるため、地元との調整を図りながら、将来的な改修などの協議を進めていきたい。

井原高校南校地跡地利用の方針示す

問 市として、必要性をどのように考えて県立



木之子公民館別館

井原高校南校地跡地の活用検討会議を立ち上げたのか

答 跡地は、立地条件が優れており、敷地面積（約2万㎡）もまとまっている。まちづくりを考える上で有効な土地であり、公共施設の機能集約を図るための候補地としての活用も可能である。検討会議では、立地条件や公共施設の集約の考えなどを踏まえ、将来も見据えた長期的な視点で幅広く検討していただきたい。



井原市公共交通の維持について

無所属 柳井 一徳



問 全国的に課題となっている公共交通維持は

地方都市以外にも大都市でも苦慮している。乗務員のなり手不足や高齢化、時間外労働の制限、燃料費の高騰など運営に悪影響を及ぼしていることは周知の通りである。本市でも路線バスや循環バス、予約型乗合いタクシーあいあいカー、井原鉄道などの公共交通があるが、今後の公共交通体系について伺う。

答 利用者一人あたりの目標額は500円で実数値では582円となっており、そのことを踏まえ、利用者のニーズを把握し、見直しも含め公共交通会議を行っている。業者への支援も必要であり、運転免許証の返納者も増え、新たなニーズも発生していることから、今後のアンケート調査で市民のために利用しやすい公共交通体系となるよう令和8年度からの計画でしっかりと検討したいと思っている。

問 公共交通維持に必要な採算額目標について





重層的支援体制
整備事業について 他2件

公明党 佐藤 さとう 豊 ゆたか



問 社会福祉法の改正により、介護や障がい、子育て、生活困窮など

複雑化、複合化した住民の悩みに対応する包括的な相談支援を柱とした重層的支援体制事業がスタートする中、本市の事業推進に対する現状での考えを伺います。

答 国では、相談支援や社会参加の支援など、従来の支援体制に加えて、様々な関係とのネットワークを強化するため、重層的支援体制整備事業を推進しております。本市といたしましては、引き続き

きめ細やかな相談支援に努めるとともに、国の重層的支援体制整備事業への移行準備事業等を積極的に活用し、

重層的な充実を図ってまいりたいと考えております。

問 ジモティを活用したリユースの推進について伺います。

答 ジモティは、株式会社運営する地域の情報サイトアプリであり、不要品の譲渡や、売却のほか、ボランティア募集やイベント情報などの掲載により、地元の掲示板として活用されているものであります。リユースの啓発につきましましては株式会社ジモティと協議し、検討してまいりたいと考えております。



児童減少による
小学校の小規模化について

無所属 山下 やました 憲雄 のりお



問 児童減少による小学校の小規模化について伺う。

答 現時点では小規模化による影響は幼稚園のほうで喫緊の課題である。幼稚園の在り方の方向性が固まった後小学校の在り方について検討組織の立ち上げなど具体的な取り組みに移していきたい。

問 現在の13小学校の将来状況の見通しについて市長の考えを伺う。

答 小学校及び中学校の見通しについては教育委員会等で検討することとしている。将来を見据えた上で、市民の声にも耳を傾けて進めていきたいと思います。

問 小学校の適正規模化に向けたロードマップ及びスケジュールはい

つ顯示することができるとについて伺う。

答 現在、教育委員会事務局内部で検討中でありお示しできる段階ではない。

問 平成29年に教育審議会答申から、今日まで小学校の適正規模、統合等に触れなかったことについて伺う。

答 教育委員会では小学校を地域とともにある学校へと方向転換して小規模のメリットを最大限に生かすよう取り組んできた。しかし、今後は小規模の課題もあることから小学校の在り方を検討していくこととしていく。



地域力創造アドバイザーの活用
による空き家対策について

無所属 惣台 そうだい 己吉 みよし



問 地域力創造アドバイザーの活用による空き家対策事業の具体的な取組について

答 昨年10月1日時点の全国の空き家数が90万戸、空き家率が13.8%となり、岡山県では16.4%となった。

今年度より国の外部専門家を活用し、新たな視点から取り組んでいく。まずは5月に職員研修を開催し、指導、助言をいただいた。さらに、空き家問題に関する啓発活動、空き家対策事業の計画づくりなどとともに、民間組織の立ち上げに向けて各種支援をいただく。

問 本市の文化・芸術のさらなる振興を！

問 本市の文化・芸術の振興に向けた取組状況

について

答 昨年リニューアルした平櫛田中美術館を新たな芸術・文化の交流拠点とし、併設している市民ギャラリーも活用し、引き続き本市の文化を発信していく。

問 東京藝術大学との連携協定の締結について

答 人的、技術的なパイプを徐々に太くしていく、活動を継続していくことで連携協定の締結について機運を高めていければと考えている。



平櫛田中《鏡獅子》1958年
東京国立近代美術館蔵
撮影 花田ケンイチ

問 アーティスト・イン・レジデンスについて

答 井原市で可能かどうかも含めて、しっかりと研究していきたい。

行政視察

報 告 委 員 会

令和6年5月14日～15日の2日間、
兵庫県、京都府において行政視察を行いました。

兵庫県 西脇市

○課題懇談会について

・市内で活動する市民団体、市民グループと各委員会が課題やテーマを決めて意見交換を行う取組

・市民団体（公的団体、任意団体は問わない）からの申し込みまたは、委員会から団体への申し入れにより実施する。終了後は所管の委員会で報告書を作成し、議員協議会で報告する。報告書はホームページ及び議会だよりで公表し、重要なものは市長へ送付する。
○その他の広聴活動について

【議会報告会】

・議員と語ろう会
・井原市議会の「市民の声を聴く会」と同様の事業

【高校生版議会報告会】

・主権者教育の一環として平成29年から実施

している。

【議会だよりモニター】

・委員を公募し、議会だよりに対する意見等を聴取する。

・8名を採用し、議会だよりに対するアンケートを実施した。



京都府 南丹市

○出前でおしゃべり青空議会について

・市内で開催される各種イベントに議会ブースを設け、来場者の皆さまの市政に対する意見や相談を聞く取組
・議会報告会を開催していたが参加者が少なかつたことから始めた取組であり、議会を身近に感じても

らうきつかけづくりの場として捉え、敷居を低くしている。
・合併前の旧町単位で開催されるイベントでブースを設けて実施し、参加可能な全議員で対応する。（常任委員会委員を均等に配置）

・市議会ホームページ等で周知し、各議員で呼び込みを実施するとともに、簡単なアンケートを配布し相談しやすい雰囲気になるよう努めている。

・アンケートでは年齢、居住地の他、議会に関することや、直近の主要事業を1つ挙げ意見を伺う。
・4回目は、塗り絵コーナーを設けて子育て世代が来場しやすいよう変更した。

・寄せられた意見等は、常任委員会へ情報共有しており、相談をきっかけに執行部へ意見書の提出を行った例もある。
・各地区開催により地域バランスの取れた

意見聴取が可能となり、議会に関心が低い層との交流が実現している。



兵庫県 朝来市

○次世代を担う高校生の主権者教育について

・市民に開かれた議会、信頼される議会を目指す取り組みの一環として次世代を担う高校生の政治や地方自治への意識醸成を行う取組

・令和3年8月に朝来市議会100回記念事業として初めて朝来市議会主催で開催し、令和4、5、6年度も継続的に開催している。
・対象は市内2高校で

・高校生が議員、議員が執行部役となり一般質問を実施する。ケーブルテレビによる生中継、インターネットでの録画配信を行っており、会議録はホームページ及び議会だよりで公表している。

・高校生からの通告書を広聴広報委員会が議員に割り振り、議員が答弁書を作成している。事前に学習会を開催し、高校生との意見交換を行っている。

・これまでの実績として、高校生等医療費助成事業の対象者の拡充、乳幼児等・子ども医療費助成事業の所得制限の撤廃などが実現した。



『市立小学校規模に関するアンケート』結果

(人口減少時代の施策の在り方調査特別委員会)

「人口減少時代の施策の在り方調査特別委員会」では設立以来、本市の人口減少を将来的にどう捉えるかといった基本的な考え方からスタートし、人口ビジョンや税収減など財政予測も含め、本市の将来的な学校園の在り方に焦点を絞り込むこととして各委員間で活発な議論を交わしてきました。

そうした中、学校園の在り方を考える上で保護者の考えをお聞きすることが必要不可欠であることから、令和6年2月に「市立小学校規模に関するアンケート」を実施させていただきました。

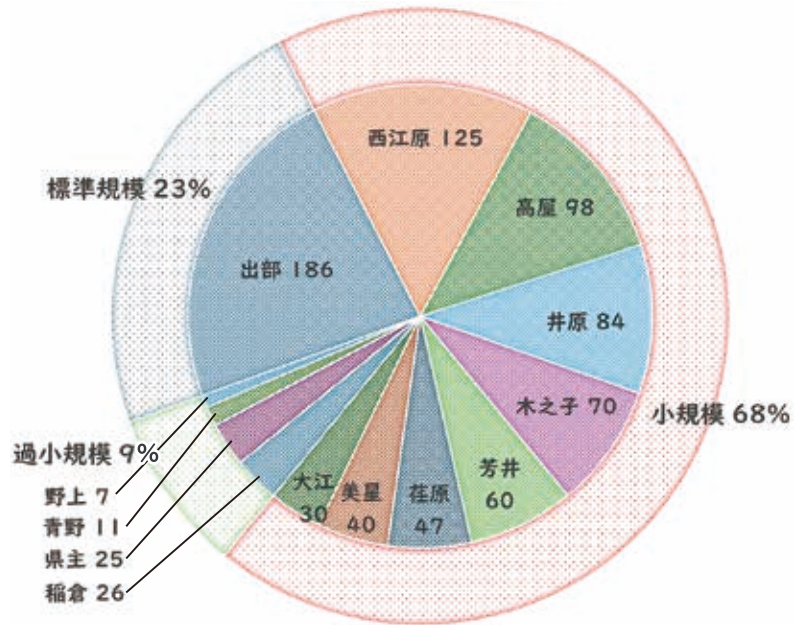
その節には多くの保護者の皆様よりご回答をいただき、誠にありがとうございました。



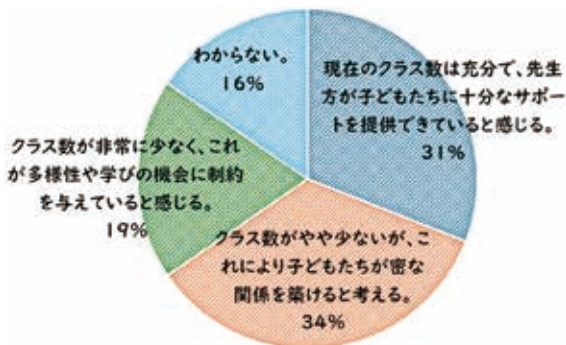
学校規模の標準について

	学校全体の 学級数	学年の 学級数	該当する 小学校
過小規模校	6学級未満	複式学級～ 1学級以下	稲倉・県主 野上・青野
小規模校	6学級以上 12学級未満	1学級以上 2学級以下	井原・高屋 大江・木之子 荏原・西江原 芳井・美星
標準規模校	12学級以上 18学級以下	2学級以上 3学級以下	出部

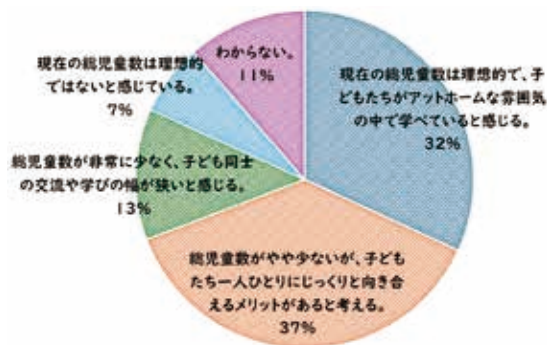
アンケート回答数809件



クラス数に対する感想

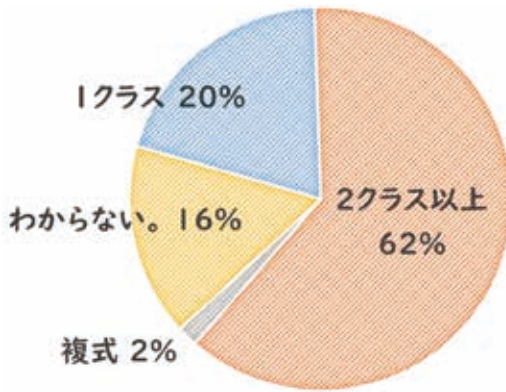


総児童数に対する感想

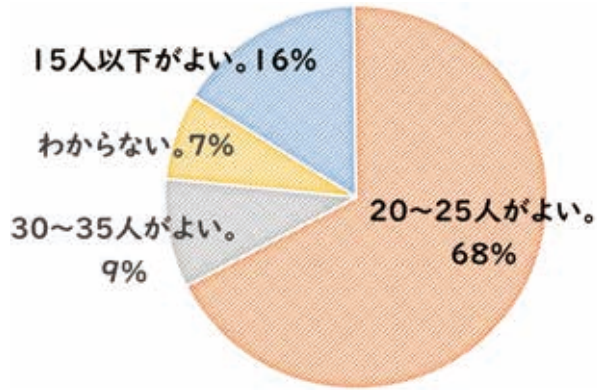


現在の「総児童数」
「クラス数」に対する
感想について

最適なクラス数

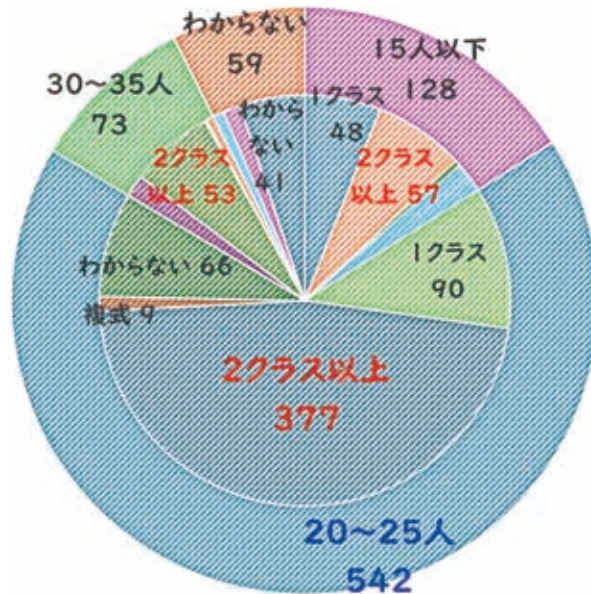


最適なクラスあたりの児童数



最適な「クラスあたり
の児童数」「クラス数」
について

最適なクラス数・児童数



アンケート結果から、保護者の多く
が求める最適な学校規模は、1クラス
20人～25人の2クラス以上というこ
とが分かります。

再編に当たっては中学
校区で小学校を統合し
適正規模にしては。ま
た、スクールバスの充
実を。

他市町では、学校の適
正化について検討し、
進めているのに井原は
なぜ取り組まないのか。

統合すると遠い地域は
負担が増えるので今の
ままがいい。

「地域のための学校」で
はなく、「子どもたちの
学校」を最優先してほ
しい。

クラス替え無いのが困
る。PTAの役員負担
が多すぎる。

自由記述で寄
せられた意見・
提案の一部

当委員会ではこのアン
ケート結果に加え、4月
に教育委員会や総合政策
部、企画振興課の出席を
求め、「所管事務調査」
での聞き取り調査を実施
し、7月には、学校の「統
合再編計画」を進めてい
る他の自治体への行政視
察を実施したところです。
その他にも可能な限り必
要と思われる調査研究を
行い、年末までには取り
まとめ、市への報告・提
言へと進めてまいりたい
と考えております。

児童が少なく心配した
が、アットホームな雰
囲気なのでよかったの
かもしれない。

子供たちの環境のため
にも、市の経費節減の
ためにも統合再編すべ
き。



次の市議会議員の皆さんが視察に訪れ、当市の取組について研修されました。

行政視察の受け入れ

愛知県蒲郡市議会
がまごり

(令和6年7月31日)

「政策会議（政策提言）の取組について」

「議会基本条例の取組の検証としての外部評価制度について」

「市民の声を聞く会について」

市議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議及び委員会は一般に公開していますのでお気軽にお越しください。会議当日の8時30分から市役所5階の議会事務局で受付いたします。どなたでも傍聴できますので、希望される方は議会事務局で傍聴券の交付を受け（先着順）、入場してください。

傍聴者の定員

本会議場 38名（うち8席は報道用）
委員会室 10名
全員協議会室 5名

9月定例会の仮日程

9月 9日（月）	開	会
	（市長の提案説明）	
9月11日（水）	一 般 質 問	
9月12日（木）	一 般 質 問	
9月13日（金）	一 般 質 問	
9月17日（火）	議 案 審 議	
9月18日（水）	決 算 審 議	
9月19日（木）	（厚生文教委員会）	
9月20日（金）	（総務産業委員会）	
9月24日（火）	（予算決算委員会）	
9月25日（水）	（予算決算委員会）	
9月27日（金）	議 案 審 議 ・ 閉 会	

日程については、9月3日の議会運営委員会で協議した後、ホームページ等でお知らせします。

～ 会議録の検索 ～



井原市議会
ホームページ



井原市議会のホームページでは、平成24年2月定例会分から常任委員会の会議録（要点筆記）を公開しています。また、平成9年3月定例会以降の本会議の会議録を検索することができます。

市のホームページから市議会ホームページへアクセスし、「会議録」をクリックしてください。

（井原市ホームページアドレス）

<http://www.city.ibara.okayama.jp>

なお、この会議録につきましては、正式な会議録とは若干異なります。

編集後記

この原稿を書いているのが6月末。今年は梅雨入りも遅く、猛暑予想もされている。議会だよりが届くのは8月中旬。どんな夏になっているのでしょうか。最近、想定外という言葉をよく聞く。猛暑、豪雨、豪雪、地震などの天災もあるが、世の中の動きも予測できない出来事が起きている。対して行政は、人口減少をはじめ、予測できる事が多くある。将来予測を立て、「想定外でした」とならない市政運営になるように、議会のチェック機能強化が大切です。

（坊野公治）

広聴広報委員会

委員長	西村慎次郎
副委員長	多賀 信祥
委員	宮地 俊則
〃	西田 久志
〃	坊野 公治
〃	山下 憲雄
〃	柳原 英子
〃	沖久 教人